

令和6年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【河合小・中・中等教育学校】

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と授業改善策	
	学習上・指導上の課題	授業改善策【評価方法】
知識・技能	【学習上の課題】 算数「数と計算」の領域において、正答率が低い。 【指導上の課題】 児童が反復・習熟に取り組む時間の設定が不十分である。	⇒ 「ドリルパーク」や「スタディサプリ」を活用し、漢字や基本的な計算等の反復・習熟に取り組む【週2回の朝学習で実施】。その際、児童の学習履歴を確認し、個別に学習計画を立てる時間を設定する【月に1・2度の自習学習タイムで実施】。
思考・判断・表現	【学習上の課題】 国語の「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」について、各学年共通の課題がみられた 【指導上の課題】 児童が自己表現する過程を教師が十分に評価できていない。	⇒ 活動の中に共同編集を位置付け、協働的な学びを通して考えたり、表現したりすることができるようにする【R6年度さいたま市学習状況調査「学校の友達との間で話し合う活動を通して自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の質問項目において、肯定的な回答の割合が90%以上】。 授業中に児童が自らの学びを振り返る時間を設定し、次の学びに生かせるようにする【毎時設定】。また、振り返りを活かし、授業時には、児童とともに必要のある課題を設定したり、児童が主体的に課題を解決したりする場を設定する【毎授業で5～10分実施】。

⑤	評価(※)	調査結果 授業改善策の達成状況
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等	
思考・判断・表現		

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	①児童生徒による振り返り ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告	
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し
	評価(※)	授業改善策【評価方法】
知識・技能		
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)